

Arcstar Smart PBX

ver. 4.0

アプリ操作マニュアル for iOS

2024年 11月

目次

基本画面

P.4

- 発信画面
- 発信中画面
- 着信中画面
- 履歴画面
- ステータスバーの説明

電話をかける

P.10

- 電話をかける
- 電話帳から電話をかける
- お気に入りから電話をかける
- 無料通話先050番号判別機能
- マイクへのアクセスを有効にする
- IP電話モードと携帯電話モードについて
- 携帯電話モードで電話をかける
- 履歴から携帯電話モードで電話をかける
- 携帯電話モードの設定
- 携帯発信ボタンの設定
- 携帯電話モード発信時の通知設定

電話をうける

P.24

- Smart PBXアプリからの着信（画面ロックなし）
※iPhone電話アプリと連動時
- Smart PBXアプリからの着信（画面ロックあり）
※iPhone電話アプリと連動時
- Smart PBXで通話中の携帯電話の着信
※iPhone電話アプリと連動時
- 携帯電話で通話中のSmart PBXアプリの着信
※iPhone電話アプリと連動時
- Smart PBXアプリからの着信（画面ロックなし）
※iPhone電話アプリと連動OFF時
- アプリからの着信（画面ロックあり）
※iPhone電話アプリと連動OFF時
- コールピックアップ
- パーク応答
- 指定ピックアップ

通話中の操作

P.34

- 通話中画面
- パーク保留
- 保留転送
- ブラインド転送
- 転送キャンセル
- Bluetooth機器を用いた通話

留守番電話機能

P.42

- 留守番電話を設定する
- 留守番録音されたメッセージを再生する
- 留守録通知機能

電話帳機能

P.46

- 電話帳を開く
- 新しいグループを作成する
- グループを編集する
- お気に入りに連絡先を登録する
- お気に入りに登録されている連絡先を削除する
- お気に入りに登録されている連絡先を編集する

目次

各種設定

P.55

- 設定一覧から各種情報を確認・変更する
- アプリの設定画面各ボタン機能紹介
- iPhone電話アプリと連動
- 通話OFFモード
- 電話帳サービスを設定する
- 内線番号を確認する
- 着信音を設定する
- 着信音をミュージックアプリ内から選択する
- Smart PBX の通話音量を設定する
- メンテナンス情報を確認する
- このアプリのバージョンを表示する
- アプリを終了する
- アプリをアンインストールする
- 音声帯域を変更する
- 機能ボタンの表示/非表示を切り替える

トラブルシューティング

P.71

- ログを記録する
- ログを停止する
- ログをメールで送る
- ログを削除する
- 通話不可状態からの手動回復

接続状態測定

P.81

- ネットワークモニタ設定
- 接続状態ポップアップ表示／通話品質確認
- 自動モニタリング
- 手動モニタリング
- 着信中モニタリング
- 通話中モニタリング

Flexible InterConnect 接続設定

P.88

- Flexible InterConnect接続を利用する
- SIPサーバ(FIC接続)のアドレスを設定する
- 接続モードを設定する
- Wi-Fi SSID を設定する
- Wi-Fi SSID を削除する

本アプリケーションのご利用について

P.95

- 制約事項
- Bluetooth利用時の注意事項
- 端末機能の権限利用について

※ 本マニュアルの画面イメージは実際の表示とは異なる場合があります。

※ 電話帳サービス設定については「アプリ操作マニュアル・電話帳サービス設定編 (iOS)」をご確認ください。

基本画面

基本画面

発信画面



「Arcstar Smart PBX」 キーパッド画面

機能紹介

- 1 「電話番号表示欄」**
ダイヤルした番号を表示します
- 2 「電話帳追加登録」**
指定番号を電話帳へ追加します
- 3 「キーパッド」**
ダイヤルボタンをタップして、電話番号を入力します
- 4 「プライベート通話モードで発信」**
①で表示された番号にiPhoneから発信します
- 5 「IP電話モードで発信」**
①で表示された番号に「Arcstar Smart PBX」から発信します
[>電話をかける・・・P.11へ](#)
- 6 「(削除)」**
①で表示された番号を削除します。長押しで表示された全ての番号が消去されます
- 7 「ピックアップ」**
同一グループ内で呼出し中の電話をうけます
[>コールピックアップ・・・P.31へ](#)
- 8 「パーク応答」①②③**
同一グループ内で保留中の電話をうけます
[>パーク応答・・・P.32へ](#)
- 9 「留守録再生」**
不在時の留守電録音を再生します
- 10 「電話帳」**
アドレス帳から、連絡先を指定できます
[>電話帳機能・・・P.47へ](#)
- 11 「履歴」**
発着信履歴から、連絡先を指定できます
[>電話をかける・・・P.11へ](#)
- 12 「設定」**
「Arcstar Smart PBX」アプリの設定情報の確認や変更をすることができます
[>各種設定・・・P.57へ](#)

基本画面

発信中画面



	機能名	機能説明
1	発信先電話番号	発信先の電話番号を表示します。
2	発信先件名	発信先電話番号に対応する発信先名称を表示します。
3	ステータス欄	「発信中」と表示します。
4	ミュートボタン	送信音声を消音します。
5	保留ボタン	通話を保留します。
6	オーディオソースボタン	音声出力先を変更します。
7	ダイヤルボタン	キーパッド画面を表示します。
8	転送ボタン	通話を転送します。
9	パーク保留ボタン	通話をパーク保留します。
10	転送キャンセル	転送の呼び出しを中断します。
11	登録画像	発信先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
12	発信終了ボタン	発信処理を終了させ、終了画面に移ります。

基本画面

着信中画面

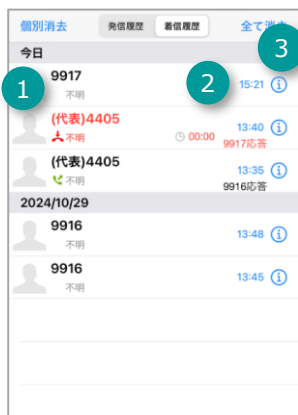


	機能名	機能説明
1	相手先電話番号	相手先の電話番号を表示します。
2	相手先件名	相手先電話番号に対応する相手先名称を表示します。
3	ステータス欄	「着信中」と表示します。
4	登録画像	相手先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
5	応答ボタン	着信に応答します。
6	拒否ボタン	着信を拒否させ、前画面に移ります。

基本画面

履歴画面

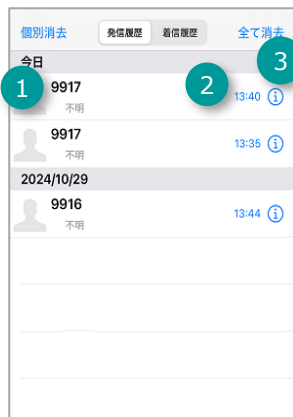
着信履歴(一覧)



着信履歴(詳細)



発信履歴(一覧)



発信履歴(詳細)



	機能名	機能説明
1	相手先電話番号	相手先の番号を表示します。(番号が端末の「連絡先」に登録されている場合は、「連絡先」の登録名を表示します。) ※不在着信の場合、赤字で表示されます。 ※代表グループ着信の場合、番号に「代表」と表示されます。また、代表グループ着信において、グループ内のメンバーが応答した場合は、応答した端末の番号を表示し、グループ内での応答がなかった場合は「未応答」と表示されます。
2	着信/発信時間	着信および発信があった時間を表示します。
3	詳細画面へ遷移	「i」のマークを押すと、着信および発信の詳細画面に遷移します。 ※通話中の接続状態が不安定だった場合、「i」のマークの右側に「!」が表示されます。(詳細は本マニュアルのP.83「接続状態ポップアップ表示/通話品質確認」をご確認ください。)
4	発信	表示されている相手先番号に「IP電話モード」または「携帯電話モード」で発信します。
5	電話帳追加	表示されている相手先番号を電話帳に新規追加、または既存の電話帳に追加します。

基本画面

ステータスバーの説明

Arcstar Smart PBXのIP電話の状態を表します。



アイコン	説明
モバイル通信 で通話可能 WiFi で通話可能	通話可能な状態です。
モバイル通信で接続状態が不安定 WiFi で接続状態が不安定	通話可能な状態ですが、接続状態は不安定です。
🌀 接続中	通話するためネットワークに接続中です。
通話不可	通話不可状態です。 ※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
圏外	圏外状態です。(ネットワークが繋がっていない状態です。)※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。

電話をかける

電話をかける

電話をかける

キーパッドを利用して電話をかける相手の電話番号を入力します



内線通話の場合は相手の内線番号を入力してください。
外線通話の場合は相手の外線番号を入力してください。(外線通話は別途、外線サービスのお申込みと外線接続の設定が必要となります)




▼通話相手の指定方法

- キーパッドからダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する
- 『お気に入り(お気に入り機能)』から連絡先を指定する >P.14へ
- 『電話帳』から連絡先を指定する >P.13へ
- 『発着信履歴』から連絡先を指定する

発着信履歴画面

1 ホーム画面上の  をタップし、ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します
※番号を間違えた場合：Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

2  をタップします(電話がかかります)

※ご注意
[プライベート通話]ボタンをタップすると、iPhoneからの発信となります



国際通話の折り返し発信

国際通話に折り返し電話をかける場合は、連絡先を指定した後、「*」を長押ししてください。番号の先頭に国際通話に必要な「+」が表示されます。

電話をかける

電話をかける



3

通話が終わったら、 をタップします(通話が終了します)



電話をかける

電話帳から電話をかける

電話帳から電話をかける相手の電話番号を選択します



1

ホーム画面上の  をタップ→電話帳ボタン  をタップすると電話帳が表示されます


2

電話帳画面から電話をかける相手をタップします

※1つの連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、発信する電話番号をもう一度指定する必要があります

3

キーパッド画面に通話相手の電話番号が正しく表示されていることを確認し、



 をタップします(電話がかかります)


電話をかける

お気に入りから電話をかける

電話をかける相手の電話帳をお気に入り(お気に入り)から呼び出し、簡単に電話をかけることができます



1 ホーム画面上の  をタップして電話帳ボタン  をタップします

2 右上にあるお気に入りボタン  をタップします

3 登録されている連絡先をタップするとキーボード画面に遷移します



4 キーボード上の発信ボタンをタップし発信します

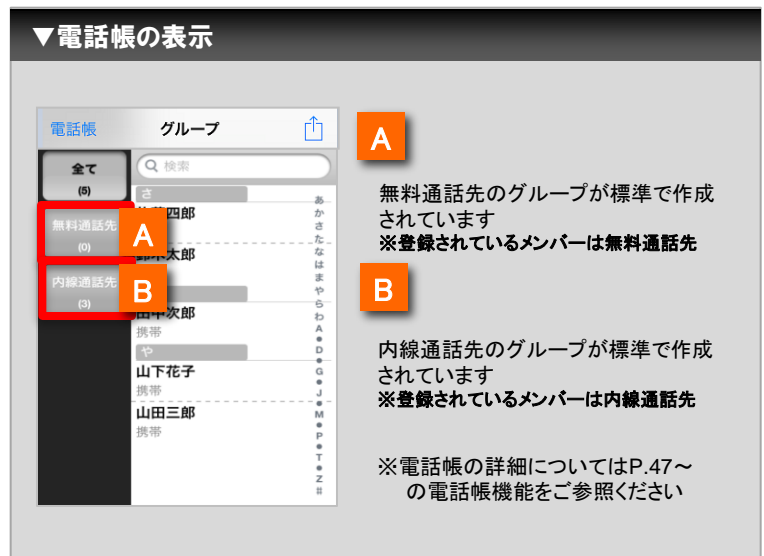
電話をかける




無料通話先050番号判別機能

外線サービスとして、「Arcstar IP Voice」をご利用の場合、「050 plus」や「OCNドットフォン」、無料通話先プロバイダが提供する050IP電話に発信する際は番号を判別して表示します。



キーパッド画面



- 1 ホーム画面上の  をタップして、無料通話先050番号を入力すると電話番号表示欄の背景が緑色になります。
- 2 同時にIP電話モードボタン  が  となり、無料通話先050番号の判別ができます。

※Arcstar IP Voiceやひかりラインなど、050から始まらない電話番号については**無料通話対象であっても**、本機能による表示は行いません(実際の通話は無料になります)
※「Arcstar IP Voice」以外の外線サービスをご利用の場合は、無料通話の対象外となる場合があります。

電話をかける

マイクへのアクセスを有効にする

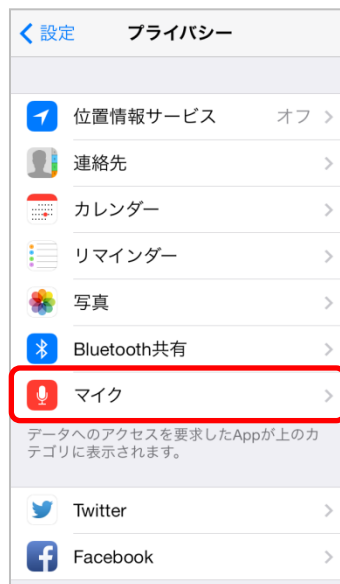
「“Smart PBX”がマイクへのアクセスを求めています」と表示される場合は「OK」をタップしてください。

※「許可しない」を設定した場合は、以下の「マイクアクセス設定を変更する」をご確認いただき、設定を変更してください。



マイクアクセス設定を変更する

iOSの「設定」⇒「プライバシー」⇒「マイク」⇒「Smart PBX」を有効に設定します。



電話をかける

- 電波状況の悪い場所や圏外エリアでご利用の場合、「発信」ボタンをタップしても発信できない場合があります。電波状況の良い場所に移動してご利用ください。
- 電波状況が悪い場所ではIP電話における通話状態が不安定になる場合があります。当該事象として、音切れ・音声品質の劣化・遅延が大きくなる・通話の終了等があげられます。
- 電波状況の目安として、ステータスバーに表示されている電波状況表示があげられますが、電波状況の良し悪しが電波状況表示のみで把握できないことを了承ください。
- 発信時、着信時、通話中時にiPhone本体サイドの音量ボタンで、音量の調整が可能です。
- 通話中は、消費電力のセーブおよび誤操作防止のため、iPhone本体を顔に近づけると画面が消灯し、離すと画面が点灯します。本体上部のスピーカー付近のセンサーで画面を点灯/消灯しますので、スピーカー付近を触れると画面が消灯することがあります。

電話をかける

IP電話モードと携帯電話モードについて

携帯電話モードとIP電話モードの違いについて

【IP電話モード】

データ通信用のネットワークを利用して通話するので、混雑した場所などでは通話品質が不安定になる場合があります。

携帯電話宛への通話料は16円/1分(税込17.6円/1分)、固定電話宛へは8円/3分(税込8.8円/3分)です。

内線通話だけでなく、NTTコミュニケーションズや無料通話先プロバイダの050番号への通話も無料通話となりお得です。

【携帯電話モード】

音声通信用のネットワークを利用して通話するので、通話品質が安定しています。

携帯電話宛への通話料は30円/1分(税込33円/1分)、固定電話宛へは20円/1分(税込22円/1分)です。(内線通話はできません。)

※ 携帯電話モードは「ビジネスモバイル」をご契約の方がご利用いただけます。

ビジネスモバイルについて

ビジネスモバイル「0035-43」を先頭につけて発信する、企業向けの国内通話サービスです。

携帯端末・通信キャリアを問わず、専用のスマホアプリや簡単なダイヤル操作で発信でき、電話番号も通話品質もそのまま、あらゆるビジネスシーンにお使いいただけます。

社員個人の携帯端末やスマートフォンを使っても、専用アプリや「0035-43」を付けて発信した通話料は自動的に会社へ請求しますので、BYOD利用に最適です。通話品質も携帯電話と同様なので安心してお使いいただけます。

ビジネスモバイルのサービス内容はNTTコミュニケーションズのサイトをご参照ください。
<https://www.ntt.com/business/services/mobile/discount-byod/business-mobile.html>

電話をかける

携帯電話モードで電話をかける

※ 携帯電話モードは「ビジネスモバイル」をご契約の方がご利用いただけます。



1

ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します



※番号を間違えた場合：Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

2

携帯電話
モード

をタップします(携帯電話モードで電話がかかります)

※携帯電話モードで発信した電話番号はアプリの発信履歴に青文字で登録されます。
※[携帯電話モード]ボタンをタップすると携帯電話からの発信、[IP電話モード]ボタンをタップするとIP電話からの発信となります。

※ 携帯電話モードを解除する場合は [携帯電話モード] ボタンを1秒以上長押し、ボタン表示が  から  に変わったことを確認した上で、発信してください。

また、発信ボタン表示を固定する場合はP.22「携帯発信ボタンの設定」をご参照下さい。

※ 携帯電話モードでの発信では、発信番号の先頭に「184003543(非通知の場合)」「186003543(通知の場合)」が付加されます。「通知」・「非通知」の設定方法については、P.23をご参照ください。

電話をかける

履歴から携帯電話モードで電話をかける



1 履歴の ⓘ をタップして、情報画面を表示します

2 [携帯電話モード発信]をタップします。(携帯電話モードで電話がかかります)

電話をかける

携帯電話モードの設定



アプリの設定の[携帯電話モード設定]をタップすると、携帯電話モードの設定画面が表示されます。

機能紹介		
1	発信者番号	タップすると発信者番号画面が表示されます。
2	携帯発信ボタン	携帯電話モード・プライベート通話、優先設定の情報が表示されます。
3	携帯電話モードについて	携帯電話モードの情報が表示されます。
4	アプリの設定	アプリの設定画面に戻ります。

電話をかける

携帯発信ボタンの設定



携帯電話モード設定の[携帯発信ボタン]をタップすると、携帯発信ボタンとプライベート通話モードの設定画面が表示されます。

機能紹介

1	携帯電話モード・プライベート通話を表示	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「プライベート通話」 <small>プライベート通話</small> に固定されます。キーパッド画面で、プライベート通話ボタンを長押しすることで、携帯電話モードに変更することができます。
2	携帯電話モードのみ表示	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「携帯電話モード」 <small>携帯電話モード</small> に固定されます。(携帯電話モードボタンを長押ししても、プライベート通話ボタンに変更できません)
3	表示しない	キーパッド画面に携帯電話モード・プライベート通話のいずれのボタンも表示されません。
4	携帯電話モード	キーパッド画面に「携帯電話モード」ボタンを表示します。長押しすると「プライベート通話」ボタンを表示します。
5	プライベート通話	キーパッド画面に「プライベート通話」ボタンを表示します。長押しすると「携帯電話モード」ボタンを表示します。
6	戻るボタン	「携帯電話モード設定」へ戻ります。

電話をかける

携帯電話モード発信時の通知設定



携帯電話モード設定の[発信者番号]をタップすると、携帯電話モード発信時の発信者番号通知設定画面が表示されます。

機能紹介		
1	通知	携帯電話モード発信が「通知」に設定されます。 キーパッド画面から携帯電話モードで発信した場合、相手先には端末の050番号が通知されます。
2	非通知	携帯電話モード発信が「非通知」に設定されます。 キーパッド画面から携帯電話モードで発信した場合、相手先には非通知での着信であることが表示され、端末の050番号は通知されません。
3	戻るボタン	「携帯電話モード設定」へ戻ります。

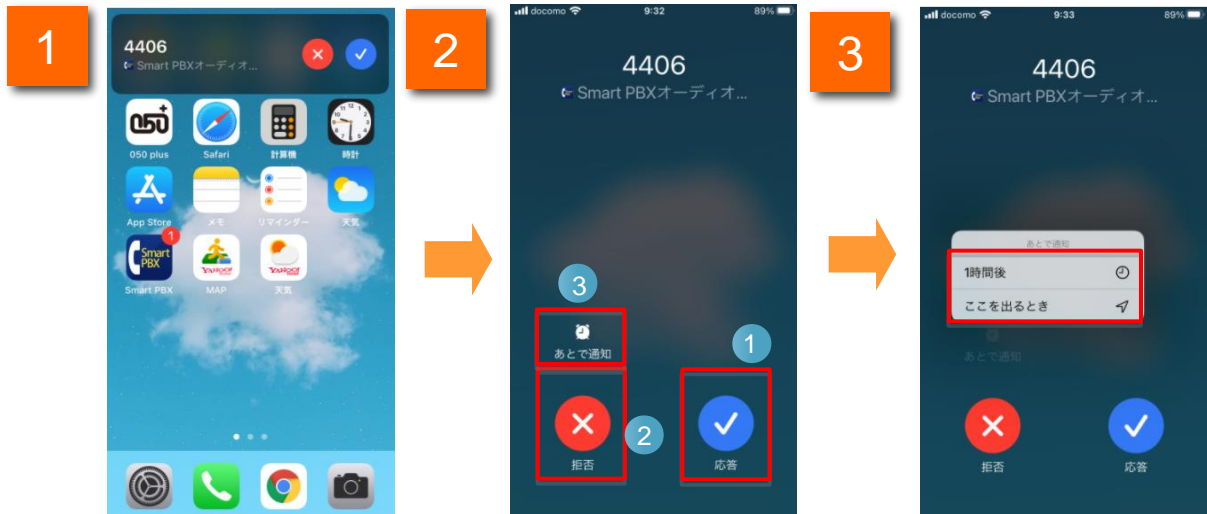
電話をうける

※30日以上アプリに着信がない場合、かつ30日以上アプリの再起動がない場合に着信が受けられなくなります。長期間アプリに着信がないと見込まれる場合は、30日以内にアプリを再起動してください。

電話をうける

Smart PBXアプリからの着信（画面ロックなし） ※iPhone電話アプリと連動時

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、OS標準電話アプリの着信画面に直接遷移します。



- 1 着信通知が画面上部にポップアップ表示されます。（「Smart PBXオーディオ」と表示されます）。通知をタップしてください。
- 2 着信画面が表示されます。「応答」「拒否」等、着信に対してボタン操作をしてください。
- 3 着信画面で「あとで通知」ボタンをタップすると、ポップアップが表示されます。「1時間後」をタップすると通話が終了し、1時間後、着信情報の通知が届きます。「ここを出るとき」をタップすると、iPhone端末のGPS機能を利用し、現在地から一定距離離れたタイミングでリマインダー通知します。

機能紹介		
1	応答	アプリの通話画面に遷移します。
2	拒否	通話を拒否し、直前の画面に遷移します。
3	あとで通知	通話を拒否し、「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

※「iPhone電話アプリと連動」の設定は、アプリのインストール時、ONに設定されています。

※「iPhone電話アプリと連動」の設定が無効かつSmart PBXがバックグラウンド表示になっている場合は、アプリの着信画面を表示するためにSmart PBXアプリの通知バーをタップする必要があります。

電話をうける

Smart PBXアプリからの着信（画面ロックあり） ※iPhone電話アプリと連動時

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、OS標準電話アプリの着信画面に直接遷移します。



1 OS標準電話で着信します（「Smart PBXオーディオ」と表示されます）。
応答する場合は画面をスライドしてロックを解除してください。

2 「スライドで応答」の操作で通話が始まります。また、画面に表示されたボタンで通話中の各種操作が可能です。

※「保留」の操作をしたい場合は、「Smart PBX」ボタンをタップして、Smart PBXアプリの通話画面に遷移してください。「保留」の操作をしない場合は「Smart PBX」のタップ操作は不要です。

※FaceTime機能はご利用いただけません。

※ Smart PBXアプリの通話画面に遷移する際、iOSの設定によりパスコード等を求められます。

3 Smart PBXアプリの通話画面が表示されます。

※OS標準電話の通話画面に戻ることはできません。

機能紹介

機能紹介		
1	スライドで応答	アプリの通話画面に遷移します。
2	あとで通知	通話を拒否し、「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

電話をうける

Smart PBXで通話中の携帯電話の着信（※iPhone電話アプリと連動時）

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、Smart PBXアプリで通話中に携帯電話の着信があった場合、通話を維持したまま携帯電話向けの操作が可能です。



1 Smart PBXアプリで通話します。

2 Smart PBXで通話中、携帯電話に着信すると、携帯電話の着信画面が表示されます (Smart PBXの通話は継続します)。表示されたボタンから着信した携帯電話向けの操作を行ってください。

3 携帯電話の着信画面(2)の「あとで通知」および「メッセージを送信」をタップすると、画面上にポップアップが表示されます。

機能紹介

機能紹介		
1	拒否	携帯電話の着信は応答拒否扱いとなり、Smart PBXアプリの通話が継続します。(Smart PBXの通話中画面に戻ります)
2	終了して応答	Smart PBXの通話を終了し、携帯電話の着信に応答します。
3	保留して応答	Smart PBXの通話を保留し、そのまま携帯電話の着信に応答します。(Smart PBXの通話は継続します) ※携帯キャリアで保留サービス未提供の場合は通話が切断されます。
4	メッセージを送信	携帯電話の着信は応答拒否扱いとなり、発信元番号に対して選択したメッセージをOS標準アプリで送信します。(通話は継続します)
5	あとで通知	携帯電話の着信は応答拒否扱いとなり、Smart PBXの通話が継続します。「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

電話をうける

携帯電話で通話中のSmart PBXアプリの着信（※iPhone電話アプリと連動時）

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、携帯電話で通話中にSmart PBXに着信があった場合、通話を維持したままSmart PBX向けの操作が可能です。



1 携帯電話で通話します。

2 携帯電話で通話中、Smart PBXに着信すると、Smart PBXの着信画面が表示されます（携帯電話の通話は継続します）。表示されたボタンから着信したSmart PBX向けの操作を行ってください。

3 携帯電話の着信画面（2）の「あとで通知」および「メッセージを送信」をタップすると、画面上にポップアップが表示されます。

機能紹介

1	拒否	Smart PBXの着信は応答拒否扱いとなり、携帯電話の通話が継続します。（携帯電話の通話中画面に戻ります）
2	終了して応答	携帯電話の通話を終了し、Smart PBXの着信に応答します。
3	保留して応答	携帯電話の通話を保留し、そのままSmart PBXの着信に応答します。（携帯電話の通話は継続します） ※携帯キャリアのサービス加入状況によっては携帯電話が切断され、Smart PBXの通話に移行します。
4	後で通知	Smart PBXの着信は応答拒否扱いとなり、携帯電話の通話が継続します。「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

電話をうける

Smart PBXアプリからの着信（画面ロックなし） ※iPhone電話アプリと連動OFF時

Smart PBXアプリに着信があったことを知らせる通知バーをタップして応答します。



1 Smart PBXに着信すると、画面上にアプリの通知バーが表示されます。通知バーをタップすると、着信画面に遷移します。

2 着信画面の「応答」「拒否」等のボタンをタップして、着信に対する操作を行います。

機能紹介

1	応答	通話を開始します。
2	拒否	通話を拒否し、直前の画面に遷移します。

電話をうける

アプリからの着信（画面ロックあり） ※iPhone電話アプリと連動OFF時

Smart PBXアプリに着信があったことを知らせる通知バーをタップして応答します。



1

Smart PBXに着信すると、ロック画面上にアプリの通知バーが表示されます。通知バーをタップすると、着信画面に遷移します。

※Smart PBXアプリの着信画面に遷移する際、iOSの設定によりパスコード等を求められます。

2

着信画面の「応答」「拒否」等のボタンをタップして、着信に対する操作を行います。

機能紹介

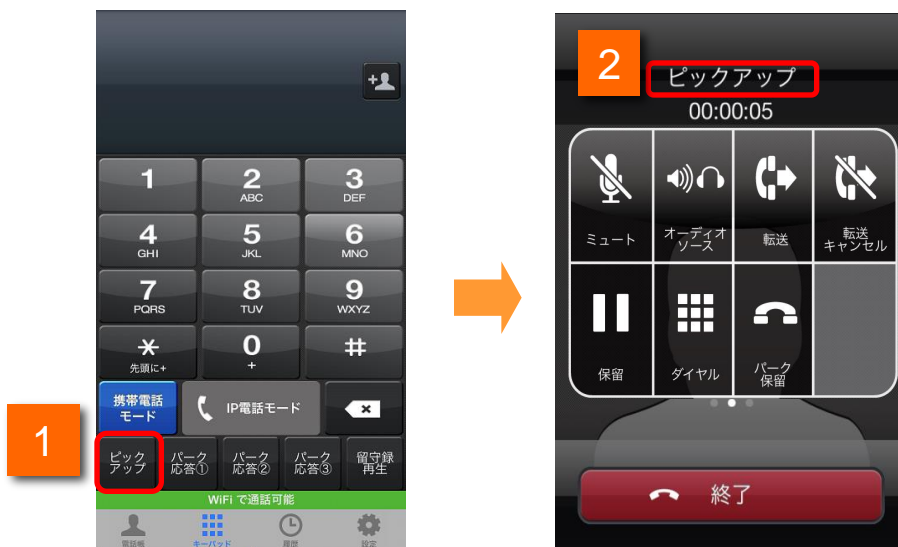
1	応答	通話を開始します。
2	拒否	通話を拒否し、直前の画面に遷移します。

電話をうける

コールピックアップ

同じ着信グループ(コールピックアップ)に登録されている他端末への着信に応答することができます。コールピックアップをご利用いただくためには、事前にWeb設定変更サイトでコールピックアップグループを設定いただく必要があります。

設定方法については、Web設定変更サイトユーザマニュアルをご確認ください。



1 事前に登録された端末に電話がかかったら、キーボード画面のピックアップボタンをタップします

2 画面に「ピックアップ」と表示され、通話が始まります。

同一コールピックアップグループ内で同時に複数の着信があった場合、コールピックアップすると、先に着信したコールからピックアップされます。

電話をうける

パーク応答

キーボードを利用して、パーク保留されている電話をうけます。



1

パーク応答①～③のいずれかの割り当て番号をタップします。(割り当て番号は、パーク保留時に音声ガイダンスで通知されます。)

2

通話が可能です。通話が終了したら、「終了」ボタンをタップします。
(画面中央に表示される各ボタンについてはP.35を参照してください)

電話をうける

指定ピックアップ

指定ピックアップはコールピックアップと異なり、着信グループ(コールピックアップ)外の着信にも応答することができます。(ご利用いただくためにはWeb設定変更サイトで事前の設定が必要です。

設定方法については、Web設定変更サイトユーザマニュアルをご確認ください。)



1

Web設定変更サイトで「指定ピックアップ」の設定が「ON」になっている端末に着信があった場合、「1009」+ピックアップしたい端末の「内線番号」をダイヤルして、「IP電話モード」ボタンを押します。

2

画面に「発信中」と表示されます。

3

通話中画面となり、通話が始まります。

<コールピックアップと指定ピックアップの違い>

操作方法 :コールピックアップは「ピックアップ」ボタンで応答できますが、指定ピックアップは「1009」+特定の内線番号をダイヤルする必要があります。

適用範囲 :コールピックアップは同じ着信グループ(コールピックアップ)内のみ利用可能ですが、指定ピックアップはグループを超えた代理応答が可能です。

通話中の操作

通話中の操作

通話中画面



通話中画面

各ボタンの機能

1	 ミュート	Smart PBX の音声を消音します ※相手に自分の音声は届きませんが、相手の音声は聞こえます
2	 保留	通話を保留します
3	 オーディオソース	音声出力先を変更します ※出力先は、iPhone(本体受話部) / iPhoneスピーカー/ヘッドセット等の接続先機器 のいずれかより選択・変更が可能です ※Bluetoothのご利用については、P.40-41、P.97をご確認ください
4	 ダイヤル	キーパッドを表示します
5	 転送	通話を転送します
6	 パーク保留	通話をパーク保留します
7	 転送キャンセル	転送の呼び出しをキャンセルします

通話中の操作

パーク保留

通話を一時的に保留し、他の端末で応答できる状態にします。
(パーク応答の方法については、P.32を参照してください。)



- 1 通話中の状態で、「パーク保留」ボタンをタップします。音声ガイダンスでパーク応答の割り当て番号(1001~1003)が流れます。
- 2 画面に「パーク保留中」と表示され、自動的に通話が終了します。パーク保留は完了です。

通話中の操作

保留転送

通話中のダイヤル操作で、電話を他の端末に転送します。



1

通話中の状態で、「転送」ボタンをタップします。

(転送ボタンをタップすると、通話相手には保留音が流れます)

2

キーボード画面が表示されます。転送したい番号を入力し、「転送開始」ボタンをタップします。

(電話帳タブ、履歴タブからも選択可能です)

転送先が応答すると、転送先との通話が可能になります。

「終了」ボタンをタップすると、転送が完了し、転送先と通話相手との通話が始まります。(通話前の画面に戻ります。)

※保留転送後、転送先が不在のため、再度「保留転送」を実施する場合は、転送処理が完了し、通話状態に戻った後に実施してください。転送処理の途中で「転送ボタン」をタップすると、片通話の状態になる場合があります。(片通話の状態が発生した場合は、「閉じる」ボタンをタップすると、通話状態に戻ります。)

通話中の操作

ブラインド転送

ブラインド転送とは直接転送のことです。通話を取り次ぐ転送者が通話中にブラインド転送の操作を行うことで通話から抜け、発信元（転送される相手）と転送先が直接つながります。



1 通話中の状態で、「ダイヤル」ボタンをタップします。

2 キーボード画面が表示されます。「*1」をダイヤルします。
※「*1」をダイヤルすると、通話相手には保留音が流れます。

※転送先番号の入力誤りや制限時間内のダイヤル操作ができなかった場合、「転送に失敗しました」というガイダンスの後、通話状態に戻ります。

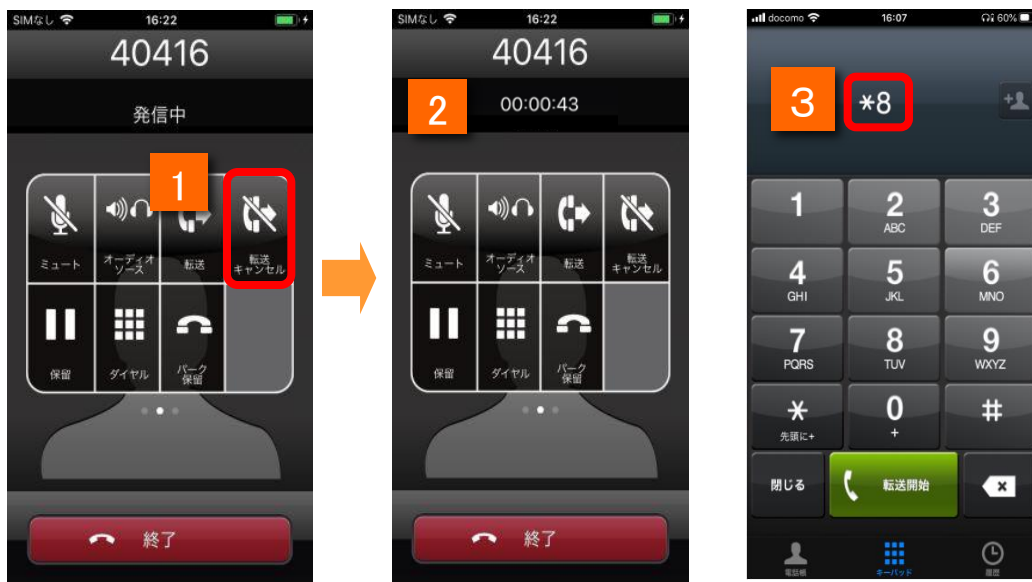
3 「転送いたします。転送先の番号を入力してください」というガイダンスが流れますので、転送先の番号を入力してください。
通話が切断され、ブラインド転送が完了します。

転送先が応答せず、不在着信となった場合は、ブラインド転送の操作をした番号ではなく、発信元（転送される相手）の番号が着信履歴に残ります。

通話中の操作

転送キャンセル

転送開始後、転送先の呼び出しをダイヤル操作で中断できます。



1 転送の呼び出し中に「転送キャンセル」ボタンをタップします。

2 転送開始前の通話状態に戻ります。

3 転送キャンセル機能はキーパッドでも操作可能です。

通話画面で「ダイヤル」をタップし、キーパッド画面で『*8』をダイヤルすると、転送の呼び出しがキャンセルされます。

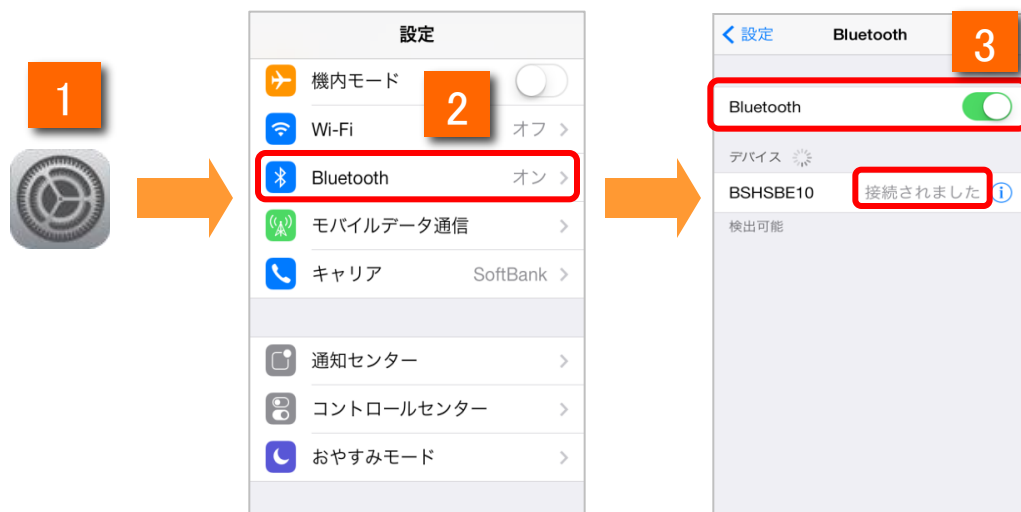
転送をキャンセルした直後に再度転送の操作をすると、「転送」ボタンが押せない場合があります。数秒間お待ちいただくことで「転送」ボタンが有効になりますので、再度「転送」ボタンをタップしてください。

通話中の操作

Bluetooth機器を用いた通話

使用するBluetooth機器を予め端末に登録しておきます(ペアリング)。

なお、Bluetoothで通話をするためには、HFPのプロファイルを持ったBluetooth機器を準備してください。



1 ホーム画面上でiPhone端末の「設定」をタップします。

2 「Bluetooth」をタップします。

3 「Bluetooth」を「オン」にスライドします。

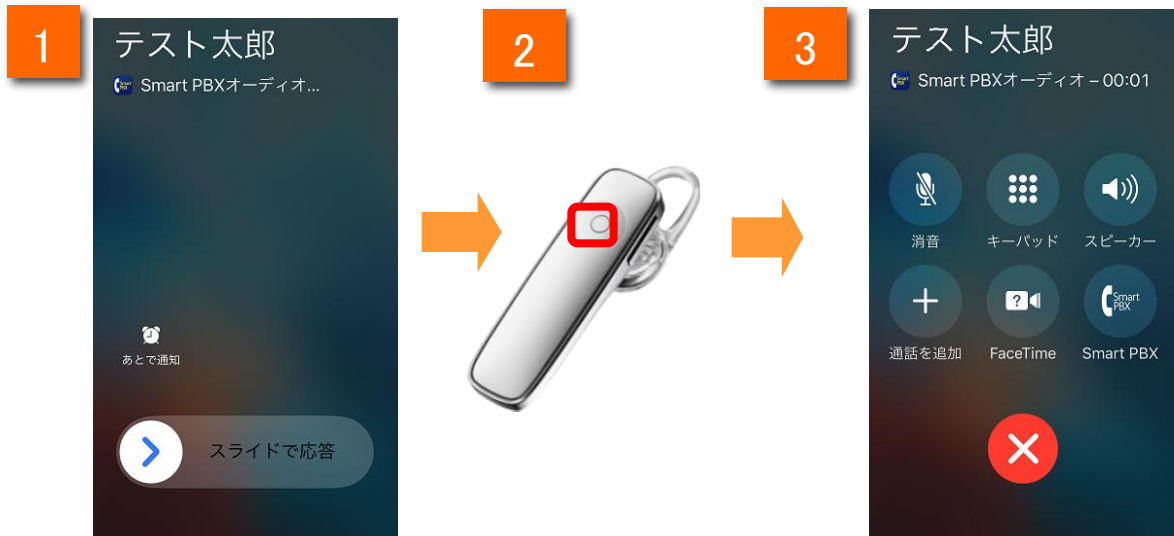
また、使用するBluetooth機器を「接続されました」の状態にします。

ペアリングの具体的方法は、Bluetooth機器付属の説明書を参照ください。

Bluetoothでの通話

Bluetooth機器を用いた通話(HFPプロファイル対応機器の場合)

使用するBluetooth機器の電源を予めONにしておきます。



1 HFP対応機器とペアリングしている状態で、アプリに着信します。

2 機器上の応答ボタンを操作して、着信に応答します。

※着信に応答するための操作方法については、各機器の操作マニュアルをご確認ください。

3 通話が始まります。

※HFP対応機器を用いた通話は、着信応答および終話のみ可能です。
機器からの発信操作はできません。

留守番電話機能

留守番電話機能

留守番電話を設定する

留守番電話機能を利用いただくためには、Web設定変更サイトでの設定が必要です。
<https://www.smart-pbx.jp/SmartPBX/Login> にアクセスしてください。「ご利用のご案内」に記載のWeb設定変更サイト「ログインID」「パスワード」でログインし、「不在時動作設定」の「留守番電話」もしくは「シングルナンバーリーチ」を設定してください。

ログインID
パスワード
ログイン

■内線番号情報②

No.	内線番号		Web設定変更サイト 端末ユーザアカウント	
	拠点番号	端末番号	ログインID	パスワード
1	20	200	aaaabbbb	ccccdddd
2	20	201	bbbcccc	ddddeeee

不在時動作設定

以下不在時動作を設定します。

内線番号
拠点番号 20
端末番号 200

不在時動作 設定 未設定

転送/留守番電話設定
転送先電話番号 05012340001
半角数字、最大32桁ハイフン[-]入力可

転送動作

<input checked="" type="radio"/> 無条件	<input type="radio"/> 設定しない	<input type="radio"/> 転送	<input checked="" type="radio"/> 留守番電話
<input type="radio"/> 話中	<input type="radio"/> 設定しない	<input type="radio"/> 転送	<input checked="" type="radio"/> 留守番電話
<input type="radio"/> 国外	<input type="radio"/> 設定しない	<input type="radio"/> 転送	<input checked="" type="radio"/> 留守番電話
<input type="radio"/> 無応答	<input type="radio"/> 設定しない	<input type="radio"/> 転送	<input checked="" type="radio"/> 留守番電話

(着信)呼び出し時間 5 秒

シングルナンバーリーチ設定

呼出終了時間 秒
(半角数字、300秒まで)
※シングルナンバーリーチ設定先の内線番号に

留守番電話 on off

留守番電話パスワード 1234

「留守番電話」の場合、希望する起動条件にチェックを入れてください。

「シングルナンバーリーチ」の場合、「呼出終了時間」に時間を入れ、「留守番電話をonにしてください。

留守番電話設定の詳細については、Web設定変更サイトマニュアルをご確認ください。
Web設定変更サイト操作マニュアルはSmart PBXオフィシャルサイトの「マニュアル」ページからダウンロードしてください。

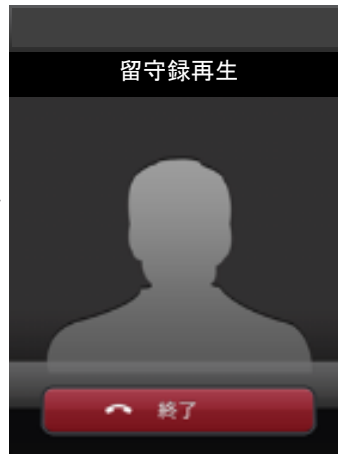
■マニュアル - 『Web設定変更サイト操作マニュアル』

<https://www.ntt.com/business/services/voice-video/voip/smartpbx/manual.html>

留守番電話機能

留守番録音されたメッセージを再生する

キーパッドの「留守録再生」ボタンを押し、ガイダンス後に対象の内線番号(拠点番号+端末番号)、パスワードをダイヤル操作で入力してください。その後、ガイダンスに従い、メッセージを再生してください。



<ガイダンス例>

「お客様の内線番号を入力してください。留守番電話用のパスワードを入力してください」
……(ダイヤル操作後)
新規メッセージが1 あります。
1を押すと新規メッセージフォルダを変更する場合は2を終了する場合は#を再度ガイダンスを聞く場合は*を押してください。

留守番録音されたメッセージを再生する(留守録パスワード登録時)

アプリの「アカウント設定」-「留守録パスワード」欄に留守録パスワードを設定すると、留守録再生時に内線番号とパスワード入力のダイヤル操作が不要になります。(※留守録パスワードはWeb設定変更サイトで事前に登録した「留守番電話パスワード」を設定してください。)



Web設定変更サイトで登録している留守番電話パスワードを設定してください



<ガイダンス例>

新規メッセージが1 あります。
1を押すと新規メッセージフォルダを変更する場合は2を終了する場合は#を再度ガイダンスを聞く場合は*を押してください。

留守録パスワードが事前に設定されている場合、留守録再生ガイダンスの途中で内線番号とパスワードの送信が開始されるため、ガイダンスの音声が入切れることがあります。ただし、留守録の再生自体には途切れは発生しません。

電話帳機能

留守録通知機能

留守録通知機能を設定すると、留守電が入ったときに通知を受け取ることができます。



1 「アプリの設定」の「留守電を通知する」にチェックを入れてください。

2 留守電が入ると、iOSの通知センターに留守録通知が表示されます。留守録通知をタップすると、アプリのキーボード画面が起動し、留守録再生ボタンに新着の留守録があることを示す通知アイコン(🔴)が表示されます。留守録再生ボタンをタップしてください。
※Smart PBXアプリがフォアグラウンドで画面表示されているときに留守録通知を受けた場合は、留守録通知のタップなしで留守録再生ボタンにアイコンが表示されます。

3 留守録が再生されます。
※「アカウント設定」で事前に留守録パスワードを登録すると、留守録再生時に留守録パスワードのダイヤル操作が不要になります。(P.44を参照してください)

・留守番電話機能の利用には、Web設定変更サイトでの設定が必要です。
事前の留守番電話機能設定がない場合、留守録通知機能は動作しません。

※留守番電話機能の設定方法については、「Web設定変更サイト操作マニュアル」をご確認ください。(P.43を参照してください)

・留守録通知機能は通話OFFモードの設定が有効になっている場合、動作しません。



・留守録通知を受けても、iOSの通知センターの留守録通知をタップせず、Smart PBXアイコンから直接アプリを立ち上げた場合は、留守録再生ボタンの通知アイコンは表示されません。(新着の留守録再生は可能です)

電話帳機能

電話帳機能

電話帳を開く

電話帳機能のメニューを活用することで「新しいグループの作成」や「グループ編集」などが行えます

- 1 ホーム画面上の  をタップして、電話帳ボタン  をタップすると登録されている電話帳の一覧が表示されます



電話帳サービスを設定していない場合、端末の電話帳を表示します。

電話帳機能

2

電話帳画面の「グループ」をタップすると、電話帳のグループ一覧が表示されます

※グループ一覧画面では、すでに登録済の電話帳の一覧を表示したり、新たな電話帳を登録することができます



電話帳 (グループ一覧)画面

機能紹介

1	全て (0)	全ての連絡先一覧が表示されます ※()内は登録されている数
2	携帯050番号 (1)	無料通話先のグループははじめから作成されています ※登録されるメンバーは無料通話先050番号が登録された連絡先です
3	内線通話先 (0)	内線番号の一覧が表示されます ※先頭が0,1から始まらない電話番号は、こちらに登録されます
4		電話帳の設定メニューが表示されます ※選択しているグループにより、表示される項目が変わります

※選択したボタンにより、表示される項目が変わります



電話帳の設定メニュー

※自分で作成したグループを選択している場合の表示例

機能紹介

5	グループの追加	新しいグループを追加登録します >新しいグループを作成する ...P.49へ
6	グループの編集	登録済みのグループについて、名称や登録メンバーの変更ができます
7	グループの削除	登録済みのグループを削除します ※グループに登録されているメンバーは削除されません
8	連絡先の追加	登録されているグループへ新しい連絡先を追加します
9	色の変更	グループの色変更が設定できます
10	キャンセル	設定メニューの表示をキャンセルします

電話帳機能


新しいグループを作成する

電話帳をグループ分けすることによって、電話帳の情報整理・活用が行なえます

1 電話帳画面で **グループ** をタップします



電話帳画面

2 グループ一覧画面で  をタップします



グループ一覧画面

3 グループの追加ボタンをタップします



グループ一覧画面

4 【4-1】今回追加するグループの名前を入力します
【4-2】グループのメンバーに登録する連絡先をタップし、「✓」マークが表示されたことを確認します
【4-3】右上の完了ボタンをタップして完了です



新規グループ設定画面

電話帳機能

グループを編集する

グループの編集や削除を行うことができます

1

電話帳画面で **グループ** をタップします



電話帳画面


2

グループを指定します



グループ一覧画面

3

グループ一覧画面で  をタップします



グループ一覧画面

電話帳機能

4

グループの編集メニューが表示されます



機能紹介

1	グループの追加	新しいグループを追加します
2	グループの編集	グループ名を変更します
3	グループの削除	グループを削除します
4	連絡先の追加	新しい連絡先を追加します
5	色の変更	グループボタンの色設定をします

※iPhoneの「Exchange」にて、外部のメールアカウント(Gmail等)と電話帳(連絡先)を同期している場合、グループの追加やグループの編集が一部正常に動作しない場合があります

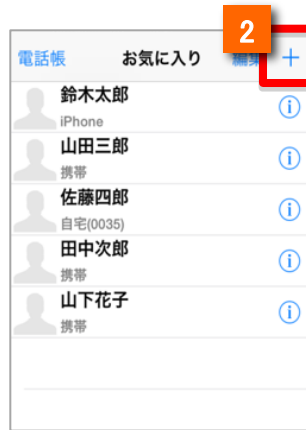
電話帳機能

お気に入り(ワンタッチコール)に連絡先を登録する


よく電話をかける連絡先をお気に入り(ワンタッチコール)に登録することで、簡単に電話をかけることができます




電話帳画面



お気に入り画面

1 キーパッド画面から電話帳ボタンをタップし、
電話帳画面右上の  をタップします

2 お気に入り画面右上の  をタップします



すべての連絡先画面



情報登録完了画面

3 すべての連絡先が表示されます
登録したい連絡先をタップすると
お気に入りに登録されます

4 連絡先に複数の電話番号が登録されている
場合は、登録したい電話番号を選んでタップ
してください



電話帳機能

お気に入り(ワンタッチコール)に登録されている連絡先を削除する


お気に入り(ワンタッチコール)に登録されている連絡先を削除できます



1

キーパッドから、電話帳ボタン  をタップし、画面右上の  をタップします。

2

お気に入り画面右上の **編集** をタップし、削除を行う連絡先の  をタップします

3



削除ボタンをタップするとお気に入りから削除されます
※『お気に入り』の登録から削除されますが、『電話帳』の登録は削除されません


電話帳機能


お気に入り(ワンタッチコール)に登録されている連絡先を編集する

お気に入り(ワンタッチコール)に登録されている連絡先の表示順を入れ替えることができます



1 キーボードから、電話帳ボタン  をタップし、画面右上の  をタップします。

2 画面右上にある  をタップします


3  をタップした状態で、移動したい場所へドラッグ&ドロップすると、表示順を変更することができます

各種設定

各種設定

設定一覧から各種情報を確認・変更する



1 ホーム画面上の  をタップします。

2 画面右下の  をタップします。

3 設定一覧画面から各種メニューを確認できます。

各種設定

アプリの設定画面各ボタン機能紹介

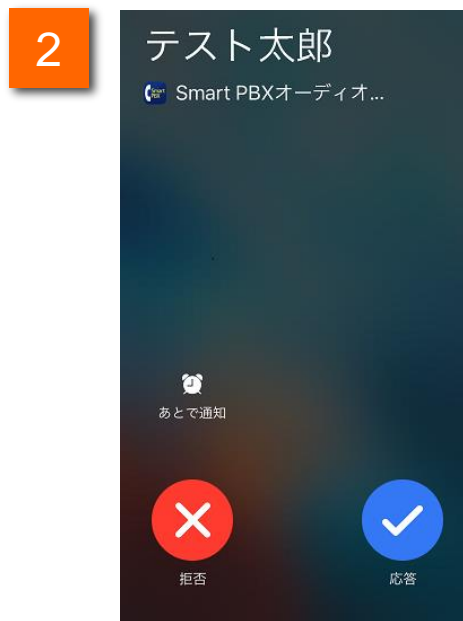


機能紹介			
1	iPhone電話アプリと連動	Smart PBXとiPhoneの標準電話アプリ機能が連動します。 ※初期設定時、有効に設定されています。	P.58
2	着信音 ※	着信時に着信音が鳴動するかを設定できます。	—
3	バイブレーション ※	着信時にバイブレーションが鳴動するかを設定できます。	—
4	着信音設定(外線着信)	外線着信時の着信音を選択できます。	P.62
5	着信音設定(内線着信)	内線着信時の着信音を選択できます。	P.62
6	通話OFFモード	発着信の機能を停止します。	P.59
7	留守録を通知する	設定をONにすると、留守録が入った際に通知を受け取ることができます。	
8	携帯電話モード設定	携帯電話発信モードを変更することができます。	P.22
9	通話音量	通話音量設定画面を表示し、マイク、スピーカーの音量レベルを変更することができます。	P.64
10	キーボード音	キーボードタッチ音を鳴動するかを設定できます。	—
11	Flexible InterConnect 接続設定	Flexible InterConnect接続の設定ができます。	P.89
12	電話帳サービス	Smart PBXと連携する電話帳サービスを設定します。 ※電話帳サービス設定については、別紙「アプリ操作マニュアル・電話帳サービス設定編」をご覧ください。	—
13	高度な設定	通話品質アラーム音、遅延改善設定、ログ送信の設定ができます。	—

※着信音/バイブレーション/着信音設定は「iPhone電話アプリと連動」設定が有効の場合、OSの設定どおりに動作します。着信の設定をアプリの設定どおりに動作させたい場合は、「iPhone電話アプリと連動」を無効にしてください。

各種設定

iPhone電話アプリと連動



1 「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、Smart PBXとiPhoneの標準電話アプリ機能が連動します。

2 Smart PBXとiPhone電話アプリが連動しているときは、Smart PBXの着信であっても、iPhoneの標準電話の着信画面が表示されます。

また、iPhoneの標準電話アプリの着信履歴にSmart PBXの着信が表示されます。

※「iPhone電話アプリ連動設定」はiOS10以降で利用可能です。

※iPhone電話アプリと連動時は、着信応答時の端末ロック解除が不要になります(端末ロック設定時)。(『電話をうける』参照)

※ iPhone電話アプリと連動時は、通話中の着信に対する操作が可能になります。(『電話をうける』参照)

※「iPhone電話アプリと連動」がオフの場合は、Smart PBXアプリで着信します。(Smart PBXの着信通知が表示されます)

各種設定

通話OFFモード



1 「通話OFFモード」を有効にすると、着信ができなくなります。着信したくないときはスイッチをONにしてください。

2 「通話OFFモード」が有効になっている間は、ステータスバーに「通話OFFモード」と表示されます。

※事前に留守番電話を設定することで、通話OFFモード有効時の着信に留守番電話で応答することができます。

※通話OFFモード有効時は、留守録通知機能は利用できません。

電話帳サービス設定の注意事項

電話帳サービスを設定する

電話帳サービスを設定すると、ご契約の電話帳サービスで履歴・電話帳の参照や、電話帳サービスアプリからのSmart PBX発信が可能になります。



1 「アプリの設定」内の「電話帳サービス設定」をタップします。

2 「電話帳サービスを利用」のスイッチをONにします。

3 「電話帳サービス」設定をタップし、「電話帳サービス」画面でSmart PBXと連携させる電話帳サービス名を選択します。

電話帳サービスのアカウント情報（ログインID/パスワード/サーバ）を入力します。「SSL接続」はONにします。画面上部の「保存」をタップします。

4 画面上部の「保存」をタップすると、設定が完了します。

※電話帳サービスの利用には別途契約が必要です。

※電話帳サービス設定については別紙「アプリ操作マニュアル・電話帳サービス設定編」(iOS)をご確認ください。

各種設定

内線番号を確認する



1

画面右下の[設定]をタップすると、「内線番号」にスマートフォン端末でご利用中の内線番号が表示されます。

各種設定

着信音を設定する

外線着信と内線着信の着信音を設定できます。



1 アプリの設定の[着信音設定]をタップすると、着信音設定画面が表示されます。

機能紹介

1	iPhoneの着信音に合わせる	iPhoneと同じ着信音が選択されます。
2	通常の着信音	Smart PBXの着信音が選択されます。
3	ミュージックから選択	ミュージックの音声ファイルから着信音を選択します。
4	アプリの設定ボタン	「アプリの設定」へ戻ります。

各種設定

着信音をミュージックアプリ内から選択する



1 「アプリ着音の選択」の「ミュージックから選択」をタップすると、「設定中の着音」が表示されます。

※通常の着音をタップすると、アプリ内の標準着音が鳴動します。

2 「設定中の着音」の「ミュージック」をタップすると、ミュージックアプリ内の表示画面に遷移します。

3 着音に設定したい曲をタップします。

4 「設定中の着音」に、上記で選択した曲名が反映されていれば設定完了です。

各種設定

Smart PBX の通話音量を設定する



- 1 アプリの設定の[通話音量]をタップすると、Arcstar Smart PBXの送話音量・受話音量の設定画面が表示されます。

機能紹介

1	送話音量自動調整	送話音量を相手に聞き取りやすい音量に自動調整します。
2	送話音量調整スライダー	スライダーを動かすと設定値を右側に表示します。スライダーの最小値、最大値はそれぞれ「-12」「+12」です。
3	受話音量調整スライダー	(送話音量調整スライダーは、送話音量自動調整をOFFにすることで、調整可能です)

各種設定

メンテナンス情報を確認する



1

設定一覧の[工事/故障情報]をタップすると、メンテナンス情報を確認することができます。

各種設定

このアプリのバージョンを表示する



1

設定一覧の[バージョン情報]をタップすると、Arcstar Smart PBXのバージョン画面が表示されます。

各種設定

アプリを終了する



1

ホーム画面でiPhone端末のホームボタンをすばやく2回クリックすると、マルチタスク画面が表示されます。

2


Arcstar Smart PBXのアプリ画面を上部にスワイプします。

各種設定

アプリをアンインストールする

アンインストールは、通常のアプリケーションと同じ方法で行います。



1 ホーム画面でArcstar Smart PBXアイコンを長押しするとアイコンの左上に  マークが表示されますので、アイコンをタップします。

2 確認ダイアログが表示されますので、[削除]をタップします。

各種設定

音声帯域を変更する



1

[高度な設定]から[音声コーデック選択]をタップすると、音声コーデックの選択画面が表示されます。

2

設定したい通信種別を選択します。

3

設定したいビットレートを選択します。
※ビットレートを広帯域にすると通話品質が向上します。
ビットレートを中帯域にすると声の途切れが緩和されます。
※初期値は、WiFi、モバイル通信のいずれの場合も広帯域です。

各種設定

機能ボタンの表示/非表示を切り替える



1

[高度な設定]の[機能ボタン表示]をOFFにします。
(初期設定時はONに設定されています)

2

キーパッド画面の機能ボタン(「ピックアップ」「パーク応答」「留守録再生」)の各ボタン)が非表示になります。

トラブルシューティング


トラブルシューティング

ログを記録する

IP電話の通話に不具合が発生した場合、症状の問診と併せて、Arcstar Smart PBXのログ（操作や入出力の記録）の送信をお願いする場合があります。

本項目では、ログの記録方法と送信方法についてご案内します。



1 ホーム画面上の  をタップします。

2 アプリ下部に表示されている[設定]タブをタップし、設定一覧を表示します。

3 [アプリの設定]をタップしアプリの設定一覧を表示します。

トラブルシューティング

ログを記録する



4 アプリの設定一覧下部に表示されている[高度な設定]をタップし、高度な設定一覧を表示します。

5 [ログ送信]をタップするとログ送信画面が表示されます。

トラブルシューティング

ログを記録する



6 [ログの取得]をオンに設定します。

※ログの「最大保存サイズ」の初期値は「5MB」です。
通話の頻度に応じて最大保存サイズの設定を変更してください。

7 確認ダイアログの[OK]をタップするとログの取得が開始されます。

・Smart PBX iOSアプリver3.8.3以降のアプリ初期状態において、「ログの取得」はオンに設定されています。（「ログ取得」をオフ設定に変更している場合、ログ取得を行うためには手動でオンに変更する必要があります。）

・アプリをご利用中に問題があり、弊社故障受付に問い合わせいただいた際に、事象解析を目的にアプリログの取得および送信をお願いすることがあります。問題の迅速な解析、解決のためできる限りログの取得設定はオンのままご利用いただくようお願いいたします。

トラブルシューティング

ログを停止する



1 高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信画面を表示します。

2 [ログの取得]をオフにするとログの記録を停止します。

トラブルシューティング

ログをメールで送る



1 高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信画面を表示します。

2 [ログの送信]をタップします。

3 確認ダイアログの[OK]ボタンをタップします。

トラブルシューティング

ログをメールで送る



4

メールアプリケーションが起動しますので、内容を確認し、[送信]ボタンをタップして送信します。

取得いただいたログは故障受付の際、弊社故障受付担当者からお願いさせていただいた場合のみメール送信してください。ログ送信だけでは故障受付および事象の解析はいたしかねます。

トラブルシューティング

ログを削除する



1 高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信画面を表示します。

2 [ログの削除]をタップします。

3 「全て消去」をタップします。

トラブルシューティング

通話不可状態からの手動回復

Arcstar Smart PBXを起動した際、認証エラー等で通話不可(赤アイコン)となってしまう場合がありますが、以下の操作を行っていただくことで復旧します。
※端末の電波が不安定な環境にある場合を除きます。

【アイコンをタップして復旧する方法】



- 1** ステータスバーのアイコンが通話不可(赤アイコン)と表示されていることを確認します
- 2** 端末のホームボタンをタップし、アプリ一覧画面を表示します
- 3** アプリ一覧画面から「Smart PBX」をタップします
- 4** ステータスバーのアイコンが通話可能(緑アイコン)に変わったことを確認します

トラブルシューティング

通話不可状態からの手動回復

【アプリ内の画面を遷移して復旧する方法】



1 ステータスバーのアイコンが通話不可 (赤アイコン) と表示されていることを確認します

2 アプリ内の別画面に遷移させます。(例: 上記画面は設定一覧に遷移させた場合) 画面遷移後、再度接続状態 (黄色アイコン) に遷移します。

3 ステータスバーのアイコンが通話可能 (緑アイコン) に変わったことを確認します

接続状態測定

接続状態測定

ネットワークモニタ設定



- 1 アプリの設定一覧下部に表示されている[高度な設定]をタップし、高度な設定一覧を表示します。
- 2 [ネットワークモニタ]をタップするとネットワークモニタの設定画面が表示されます。

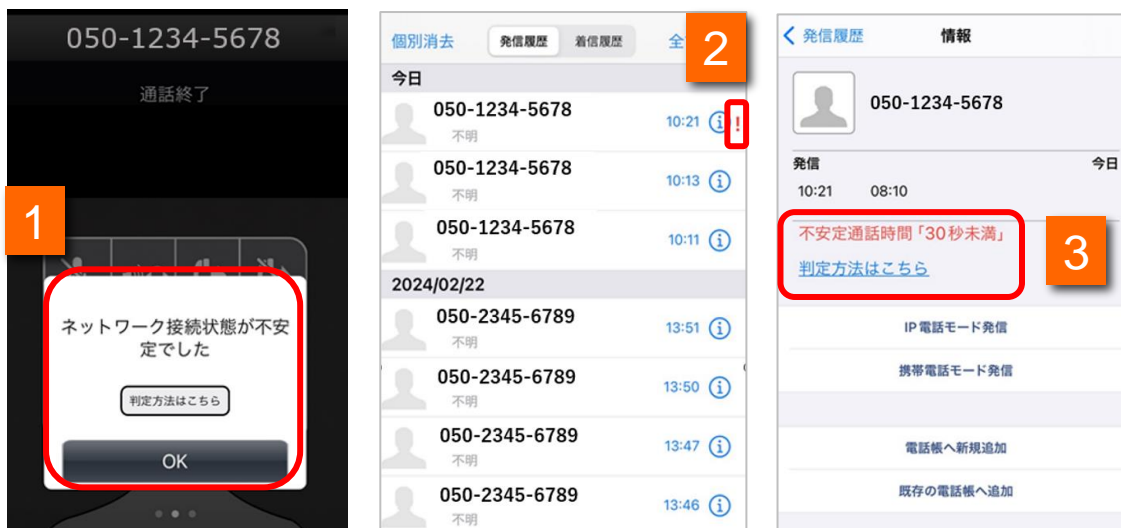
機能紹介

1	接続状態自動測定	接続状態の自動測定を実施するかどうかを設定できます。 ※詳細は次ページをご確認ください (Flexible InterConnect接続における通話は、接続状態自動測定の対象外です。)
2	接続状態ポップアップ表示	接続が不安定な状態を検知した場合、通話終了後にポップアップを表示します。
3	接続状態アラーム音	通話品質アラーム音を鳴動するかを設定できます。 ※通話中の不安定な接続状態を「ブプ」という音で通知します。 (通話相手には聞こえません)
4	着信時接続状態自動測定	着信時の接続状態の自動測定を実施するかどうかを設定できます。
5	高度な設定ボタン	「高度な設定」へ戻ります。

接続状態測定

接続状態ポップアップ表示／通話品質確認

「接続状態自動測定」機能をONに設定すると、接続が不安定だった通話を確認することができます。



1 「接続状態ポップアップ表示」機能をONに設定した状態で通話中に不安定な接続状態が発生すると、通話終了後にポップアップを表示します。

※ポップアップ画面内のボタンから接続状態測定機能の判定方法に関する情報をご確認いただけます。

2 「接続状態自動測定」機能をONに設定した状態で通話中に不安定な接続状態が発生すると、履歴上に「！」マークを表示します。

3 履歴上に「！」マークが表示された履歴をタップすると、履歴詳細画面に遷移し、接続が不安定だった通話時間を確認できます。

※画面内のリンクから接続状態測定機能の判定方法に関する情報をご確認いただけます。

※電話帳サービス連携時は履歴は表示されません。

※コールピックおよびパーク応答についての履歴は表示されません。

接続状態測定

自動モニタリング

対象の画面*1が表示された際、ネットワークの自動モニタリングを開始し、接続状態をステータスバーに表示します。接続状態が不安定になった場合は、ステータスバーに警告メッセージを表示します。

※接続状態自動測定がONの場合のみ



*1: 対象の画面はタブが表示されている以下の画面です。

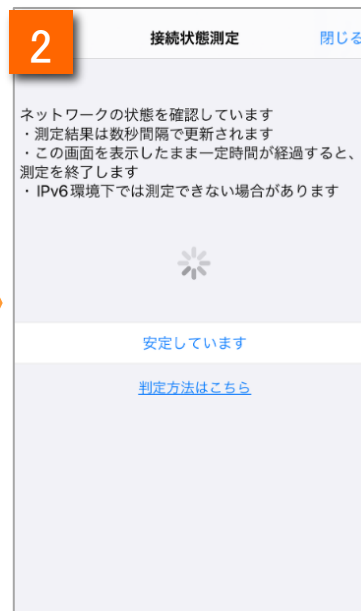
- ・電話帳画面
- ・キーパッド画面
- ・履歴画面

接続状態測定

手動モニタリング

接続状態測定をタップすることで、ネットワークの手動モニタリングを開始し、現在の接続状態を確認することができます。

※接続状態自動測定がON・OFFどちらの状態でも確認出来ます。



【NW状態:悪】

不安定です

【NW状態:良】

安定しています

【NW状態:不明・未取得】

測定中です

【NW状態:測定終了】

測定を終了しました

【NW状態:未接続】

接続していません

1

アプリの設定画面を表示し、[接続状態測定]の項目をタップします。

2

接続状態測定画面が表示され、手動モニタリングを開始します。

接続状態測定

着信中モニタリング

着信中になるとネットワークの自動モニタリングを開始します。
着信中に接続状態が不安定になった場合は、画面上に警告メッセージを表示します。
※着信時接続状態自動測定がONの場合のみ



接続状態測定

通話中モニタリング

通話中になるとネットワークの自動モニタリングを開始します。
通話中に接続状態が不安定になった場合は、画面上に警告メッセージを表示します。
※接続状態自動測定がONの場合のみ



※接続状態アラーム音がONの状態、接続状態が不安定になった場合は、通知音でお知らせします。

Flexible InterConnect接続設定 (Flexible InterConnect接続 契約者のみ)

※本機能を利用する場合、端末本体の設定メニューにてお客様ネットワーク内のWi-Fi SSIDを登録する必要があります。また、Wi-Fi機能を有効にする必要があります。

※iOS13以上でご利用の場合、SSIDの取得のためにiOSの「位置情報の利用を許可」の設定を「常に」に設定してください。

※iOS14以上でご利用の場合、「位置情報サービス」の設定で「正確な位置情報」の設定をONにしてください。

Flexible InterConnect接続設定

Flexible InterConnect接続を利用する

本項目ではFlexible InterConnectの接続設定についてご案内します。

(※アプリ画面およびマニュアル内でFlexible InterConnect接続を「FIC接続」と表記する場合があります)



1

Smart PBX の「設定」から「アプリの設定」を表示し、
[Flexible InterConnect 接続設定] をタップします。

Flexible InterConnect接続設定

SIPサーバ(FIC接続)のアドレスを設定する



1

Flexible InterConnect接続設定の[アドレス] をタップすると、SIPサーバ(FIC接続)のアドレスの入力画面が表示されます。

Flexible InterConnect接続設定

接続モードを設定する



1

Flexible InterConnect接続設定の[接続モード]をタップすると、接続モードの設定画面が表示されます。

機能紹介

1	インターネットモードボタン	タップするとインターネットモードに設定されます。
2	Flexible InterConnectモードボタン	タップするとFlexible InterConnectモードに設定されます。 【重要】 Flexible InterConnectモードではSSIDの取得のため、お客様の「位置情報」を利用します。iOSの「位置情報」設定で「位置情報の利用を許可」-「常に」を設定してください。 ※「位置情報」の設定を許可しない場合、「Flexible InterConnectモード」はご利用いただけません。 ※「位置情報」の設定はiOS13以上が必要です。
3	Flexible InterConnect接続設定ボタン	「Flexible InterConnect接続設定」へ戻ります。

Flexible InterConnect接続設定

接続モードを設定する



2

[接続モード]を Flexible InterConnectモードに設定し、[戻る] ボタンをタップするか、画面下部のいずれかのタブをタップすると、Flexible InterConnectモードで再接続を行います。

Flexible InterConnect接続設定

Wi-Fi SSID を設定する



1

Flexible InterConnect接続設定の[Wi-Fi 登録]をタップすると、Wi-Fi SSIDの登録画面が表示されます。


機能紹介

1	ネットワーク追加ボタン	タップするとネットワーク追加画面が表示されます。追加されたSSIDを持つWiFi-APに端末が接続された場合は自動的にFlexible InterConnectモードで動作します。
2	完了ボタン	編集を終了します。
3	Flexible InterConnect接続設定ボタン	「Flexible InterConnect接続設定」へ戻ります。
4	保存ボタン	SSIDを登録します。
5	キャンセルボタン	SSID登録をキャンセルします。

Flexible InterConnect接続設定

Wi-Fi SSID を削除する



1 削除を行う Wi-Fi SSID の  をタップします。

2 削除ボタンをタップすることで該当のWi-Fi SSID を削除します。

本アプリケーションの ご利用について

制約事項

- 電波状況が悪い場所では、IP電話の通話が不安定になることがあります。音切れ、音声品質の劣化、音声の遅延、通話の終了などが発生します。
- マイクデバイスを使用する他のアプリとの競合により、通話ができない場合があります。この場合、警告画面が表示されます。
- 「iPhone電話アプリと連動」の設定が無効になっている場合、Arcstar Smart PBX通話時、080/090番号へ着信が入ると、着信音が鳴り、応答／拒否画面に移ります。応答するとArcstar Smart PBX通話が切断され、080/090番号での通話となります。拒否するとArcstar Smart PBX通話が継続します。
- auをご利用の方は、Arcstar Smart PBXで通話中に080/090番号に着信が入ると、080/090番号での通話が優先され、Arcstar Smart PBXでの通話が切断されます。通話ができなくなったときから通信が切断されるまでの時間(最大で約170秒間)には、通話料金が発生します。
- auをご利用の方は、080/090番号で通話中にArcstar Smart PBXに着信が入ると、080/090番号での通話が優先され、Arcstar Smart PBXに発信した側は無音となり、しばらくすると通信が切断されます。通話ができなくなったときから通信が切断されるまでの時間(最大で約170秒間)には、通話料金が発生します。
- 080/090番号での通話中に、Arcstar Smart PBXへ着信が入ると、発信者には通話中を知らせるメッセージが流れ、080/090番号での通話は継続します。
- 080/090番号での通話中に、Arcstar Smart PBXから発信すると、アプリのキーパッドに発信した電話番号が表示され、080/090番号での通話は継続します。
- Arcstar Smart PBX通話中に、080/090番号から発信すると、Arcstar Smart PBX通話は切断され、080/090番号での通話となります。
- 一斉着信を設定している場合、スマートフォン端末とその他の端末(IPフォン/ソフトフォン)では鳴動のタイミングが異なることがあります。
- 一斉着信を設定している場合、他の端末が応答した後もアプリが10秒程度鳴動しつづけることがあります。(このとき、アプリの「応答」ボタンをタップしても通話はできません。)
- 利用端末種別をスマートフォン(iOS)からIP Phoneまたはソフトフォンに変更する場合、事前にスマートフォンアプリの「通話OFFモード」の設定を有効にする必要があります。(本操作を行わない場合、端末種別を変更後、正常に着信できません)
- 端末再起動後は、端末にログイン(画面ロックの解除)しないと、端末(OS)に動作制限がかかり、着信(プッシュ通知)ができない状態になります。端末再起動後は必ずログイン(画面ロックを解除)してからご利用ください。
- お客さまの端末環境を含む通信設備や利用形態、ネットワークの混雑状況、他のアプリとの競合などにより、通話品質に影響が出る場合や、発信・着信および通話ができない場合があります。
- Arcstar Smart PBXの発信と着信のタイミングが重なると、正常に発信ができないことがあります。(発信操作したアプリに、「お客様がおかけになった番号へは発信できません」というガイダンスが流れます) その場合は、時間をおいて再度お試しください。

Bluetooth利用時の注意事項

1. Bluetooth機器は下記条件にて利用可能です。

Bluetoothバージョン	2.0+EDR 以上
対応プロファイル	HSP (音声) ※必須
	AVRCP (Bluetoothでの応答・切断)
	A2DP (Bluetoothでの着信音)

※ 上記に対応しているBluetooth機器及び端末でも、ご利用できない場合があります。

ご利用にあたっては、必ず実使用条件にて実機確認を行ってください。

※ ご利用の際はBluetooth機器やスマートフォン端末の取り扱い説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

2. 下記原因により、音声の途切れやノイズなどで通話が困難な場合があります。

- ・Bluetooth機器とスマートフォンの相性や距離、遮蔽物の影響
- ・Bluetooth機器やスマートフォンの状態(電池残量が残り少ない状態での利用等)
- ・電波干渉の影響(Wi-Fi(iEEE802.11b/g)利用時等)

3. Bluetooth機器からの発信操作はできません。発信はアプリの画面で行ってください。

<<参考情報>>

- ・プロファイルとは、Bluetooth機器の種類ごとに機能を標準化した規格のことです。Bluetoothでの通話を実現する場合、iOS端末(スマートフォン等)、Bluetooth機器(ヘッドセット等)、利用するアプリケーションが同一のプロファイルに対応している必要があります。

HFP (Hands-Free Profile)

Bluetooth機器でハンズフリー通話を行う規格。

※携帯電話モード発信は端末標準の電話機能を使用するため、端末のBluetooth仕様に準拠します。

端末機能の権限利用について

Smart PBXアプリはお客様のスマートフォン端末機能の利用権限許可を求めるポップアップを表示します。Smart PBXアプリが権限の許可を求める端末機能、利用目的、権限の利用を許可しない場合の影響は下記のとおりです。

権限の許可項目	権限の利用目的	許可しない場合の影響
連絡先へのアクセス	電話帳に連絡先を表示させるため	電話帳に連絡先が表示されない
Apple Music、ミュージックとビデオの履歴、メディアライブラリへのアクセス	ミュージック着信音を設定するため	ミュージック着信音が設定できない
マイクへのアクセス	端末の内臓マイクにアクセスするため	音声通話ができない
デバイスの位置情報へのアクセス	Flexible InterConnect 接続のため	Flexible InterConnect 接続が利用できない